

硬膜外鎮痛分娩の現状

～日本産婦人科医会施設情報からの解析～

公益社団法人日本産婦人科医会 医療安全部会

2025年11月

「施設情報」を利用した硬膜外鎮痛分娩施設に関する年次推移データの解析 (日本産婦人科医会医療安全部)

[背景]

安全な硬膜外鎮痛分娩をめぐる医療体制を構築するため、日本産婦人科医会は無痛分娩関係学会・団体連絡協議会(JALA)構成団体として活動している。

[目的]

日本産婦人科医会が把握している情報を用い、わが国の硬膜外鎮痛分娩の実施状況およびその年次推移を把握することで、より安全な硬膜外鎮痛分娩をめぐる医療体制の構築に関する検討の基礎資料とすることを目的とする。

[対象]

日本産婦人科医会「施設情報」2018～2025年

[方法]

日本産婦人科医会が全会員施設に提出を求めている「施設情報」の中に、「硬膜外鎮痛分娩の実施状況」について記載する項目がある。その内容を解析することで硬膜外鎮痛分娩の現状と近年の傾向を検討する。

対象施設

施設数	2,331 (2018報告)
	2,282 (2019報告)
	2,214 (2020報告)
	2,145 (2021報告)
	2,096 (2022報告)
	2,013 (2023報告)
	1,948 (2024報告)
	1,875 (2025報告)

総分娩数	6,543,875	(8年間 ; 2017.1~2024.12)
------	-----------	------------------------

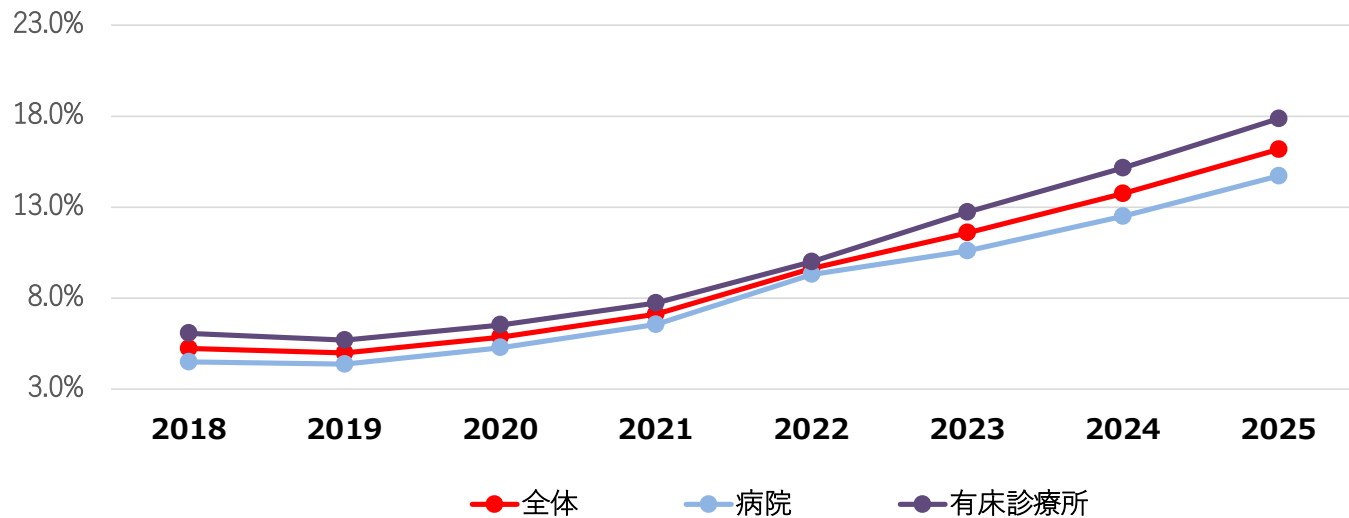
帝王切開	1,437,003	(22.0%)
------	-----------	---------

硬膜外鎮痛分娩	583,011	(8.9%)
---------	---------	--------

全分娩数に占める硬膜外鎮痛分娩の件数

総分娩数に占める硬膜外鎮痛分娩数の割合の年次推移

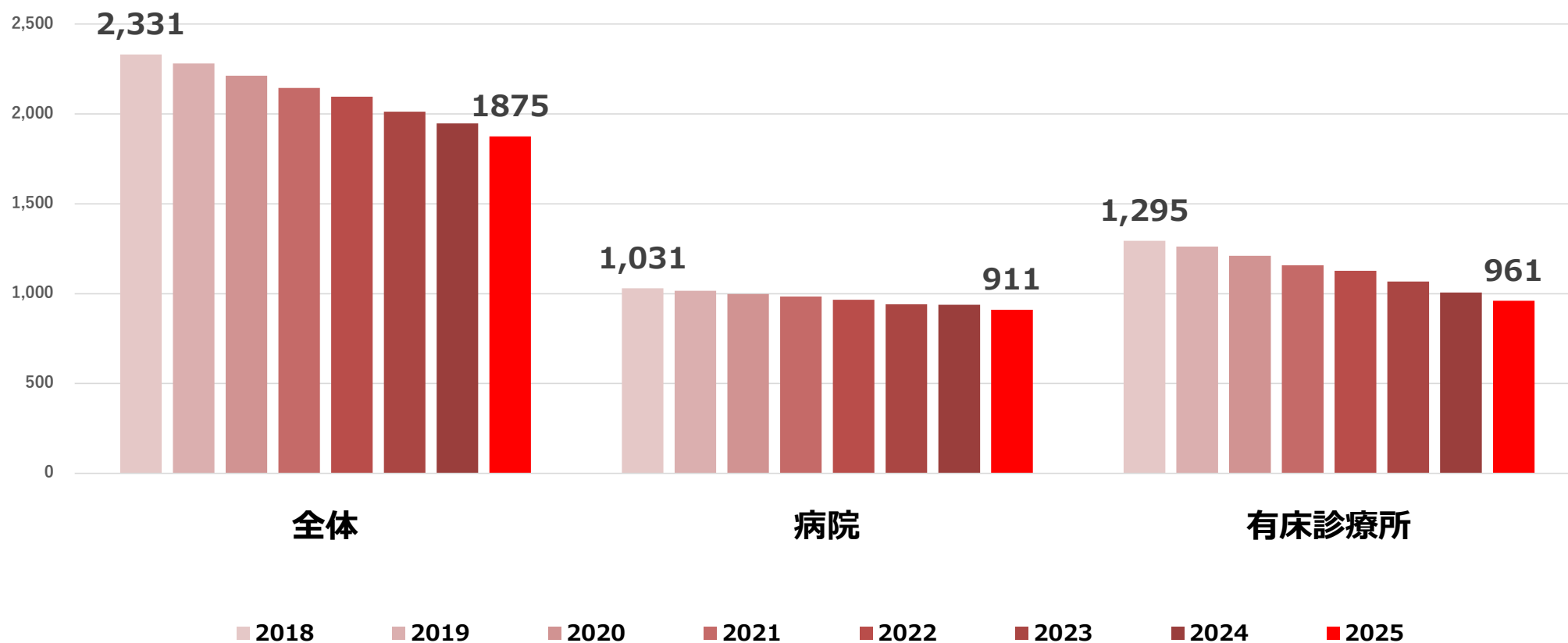
	2018年 報告	2019年 報告	2020年 報告	2021年 報告	2022年 報告	2023年 報告	2024年 報告	2025年 報告
全 体	5.2%	5.0%	5.9%	7.1%	9.6%	11.6%	13.8%	16.2%
病 院	4.5%	4.4%	5.3%	6.6%	9.3%	10.6%	12.5%	14.7%
有床診療所	6.1%	5.7%	6.5%	7.7%	10.0%	12.7%	15.2%	17.9%



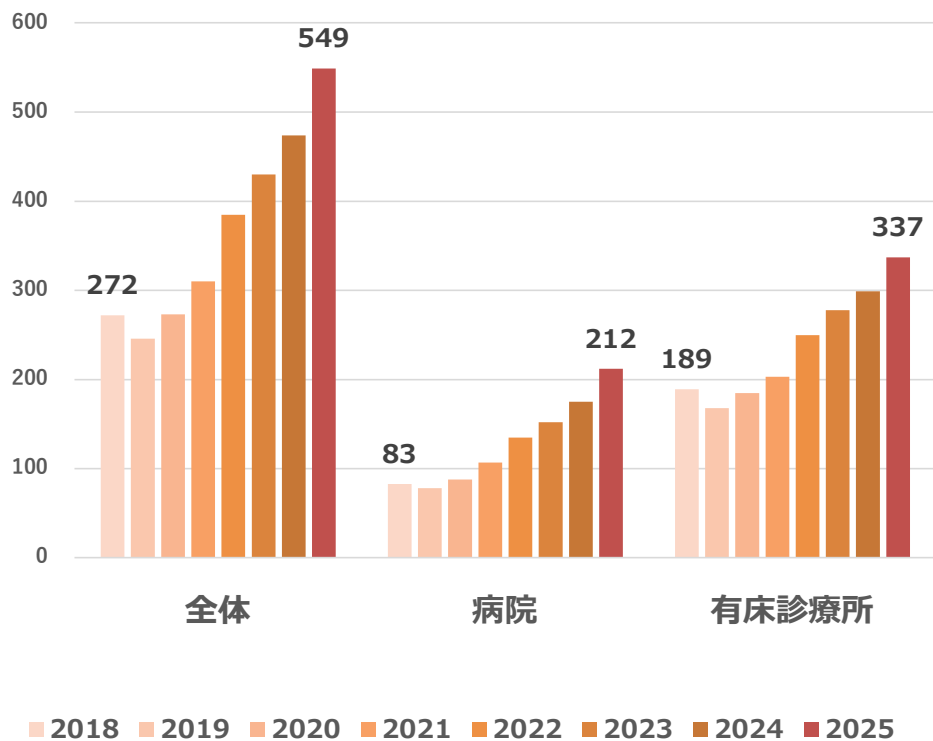
* 各報告は前年（1月から12月）
の実績を示す

対象施設の数

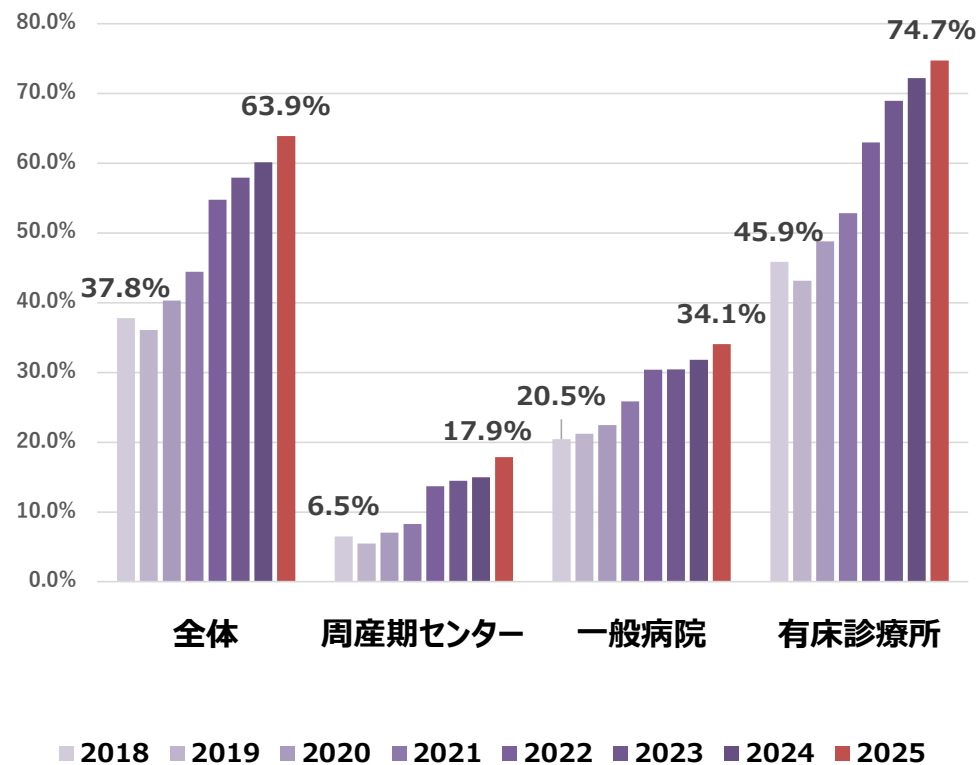
この8年間で
産科取扱病院 : 120件 (11.6%)減少
有床診療所 : 334件 (25.8%)減少



硬膜外鎮痛分娩数の割合が10%以上の施設数

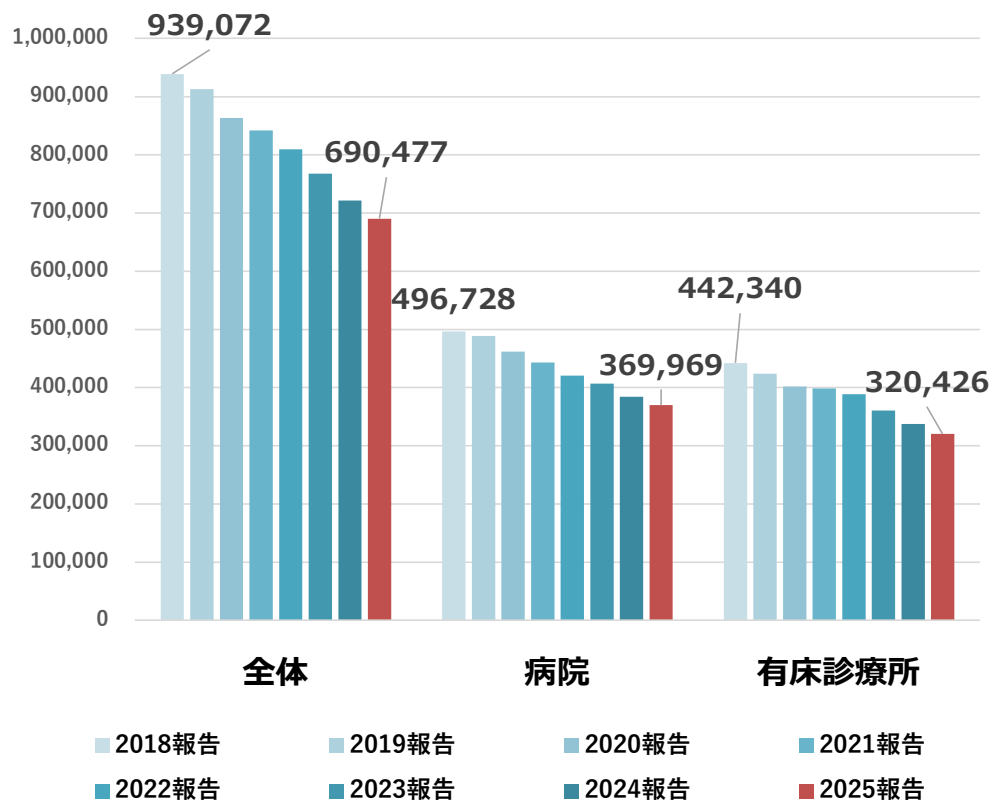


硬膜外鎮痛分娩取扱がある(1件以上)施設のうち硬膜外鎮痛分娩が10%以上を占める施設数の割合

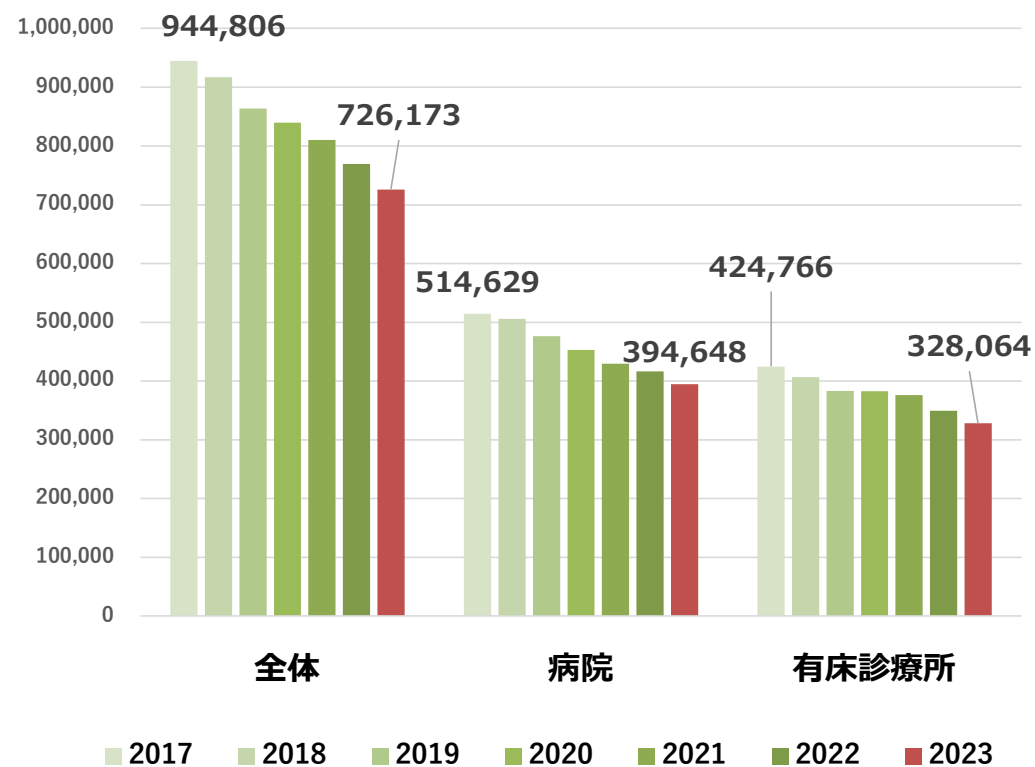


分娩数の比較

【対象施設の分娩数】



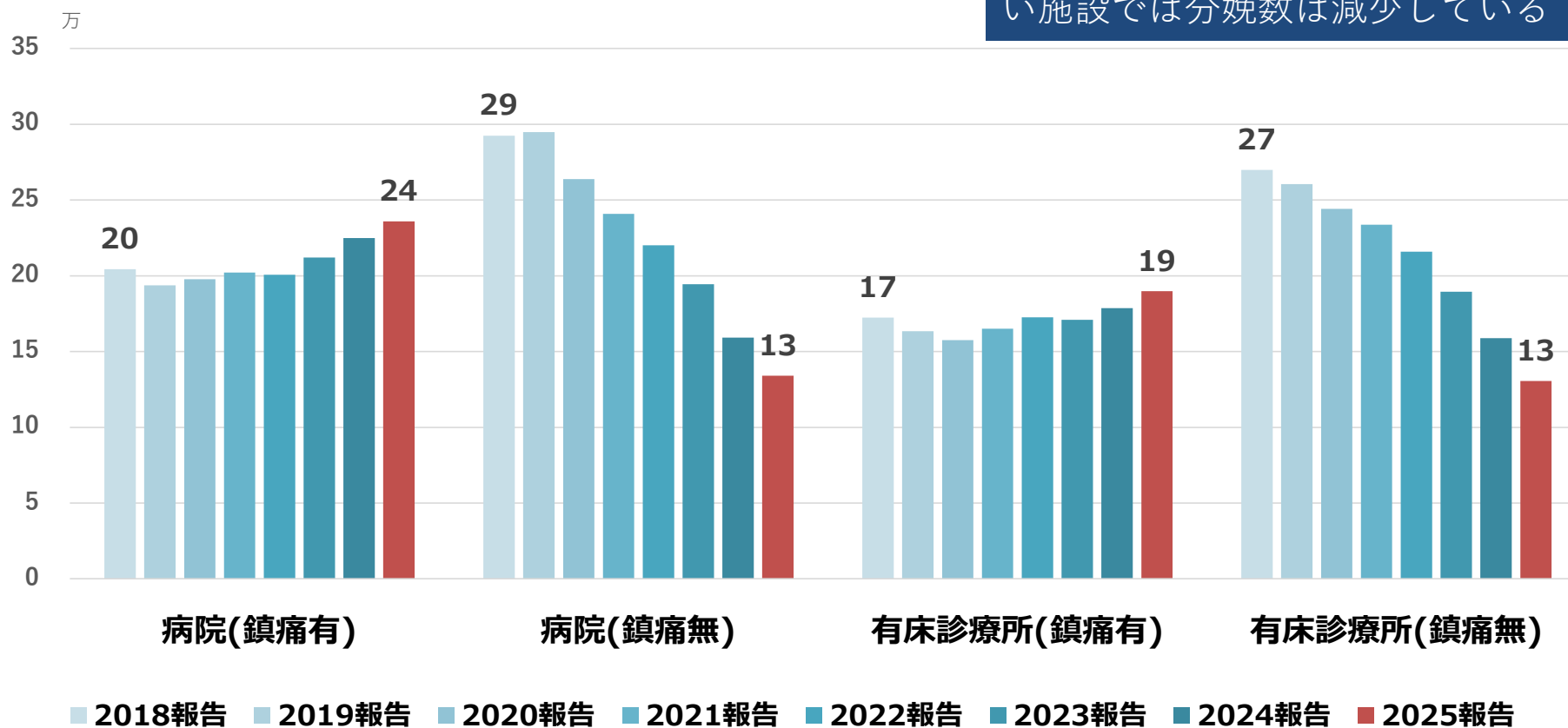
【人口動態調査の出生数】



硬膜外鎮痛分娩実施の有無別での分娩数の年次推移

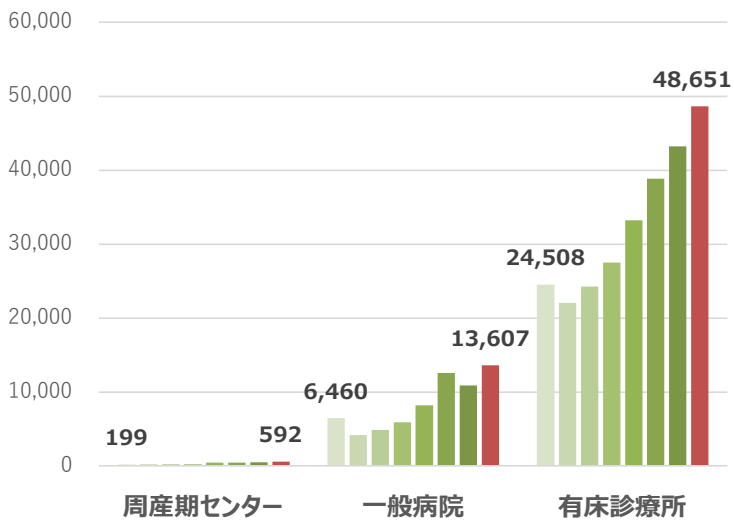
【対象施設の分娩数】

硬膜外鎮痛分娩を行なっている施設の分娩数は変化ないが、鎮痛を行なっていない施設では分娩数は減少している

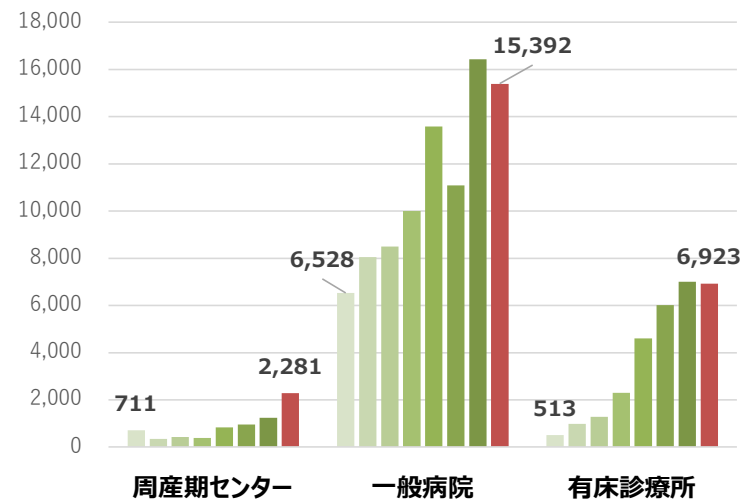


常勤医師数別・施設種類別硬膜外鎮痛分娩数

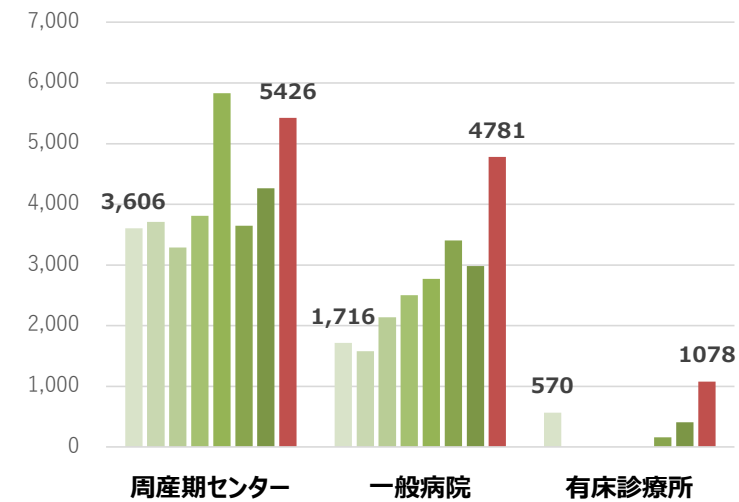
常勤産婦人科医師1～4人の硬膜外鎮痛分娩数
(医学的を除く)



常勤産婦人科医師5～9人の硬膜外鎮痛分娩数
(医学的を除く)

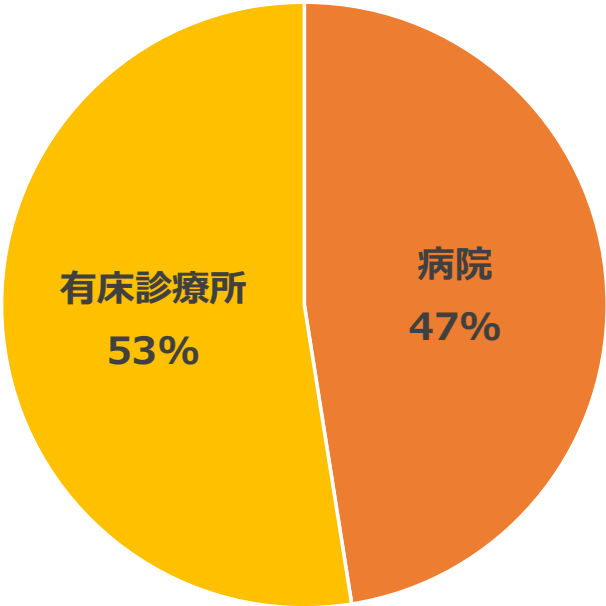


常勤産婦人科医師10～19人の硬膜外鎮痛分娩数
(医学的を除く)

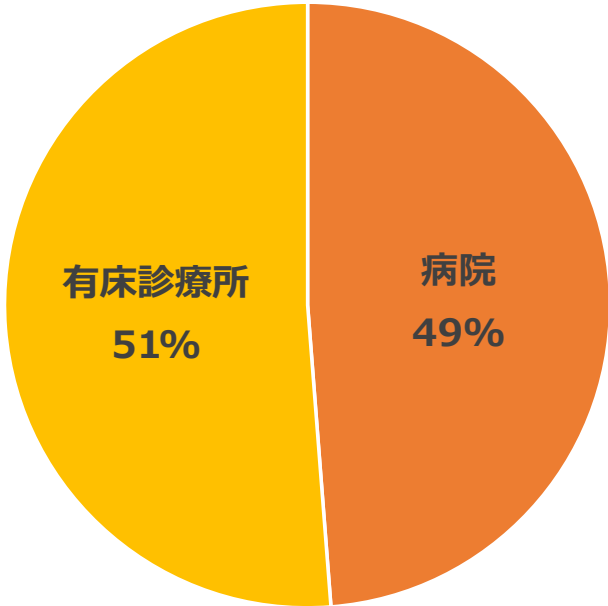


中小規模の施設において、硬膜外鎮痛分娩は増加傾向にある

硬膜外鎮痛分娩取扱施設数
859施設(2025年報告)

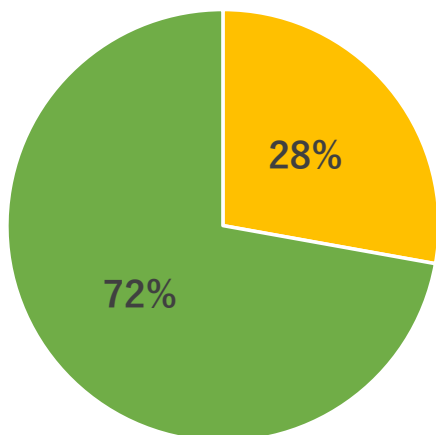


硬膜外鎮痛分娩実施産婦数
111,712人(2025年報告)

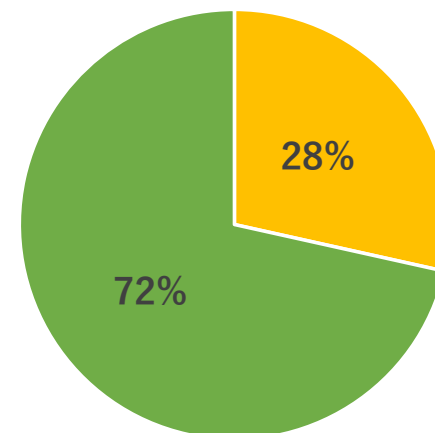


分娩数に占める帝王切開の割合[施設/硬膜外鎮痛分娩(年間10件以上)有無別]

病院
【硬膜外鎮痛分娩する施設】



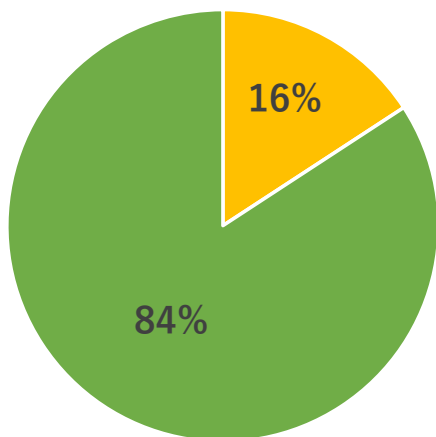
病院
【硬膜外鎮痛分娩しない施設】



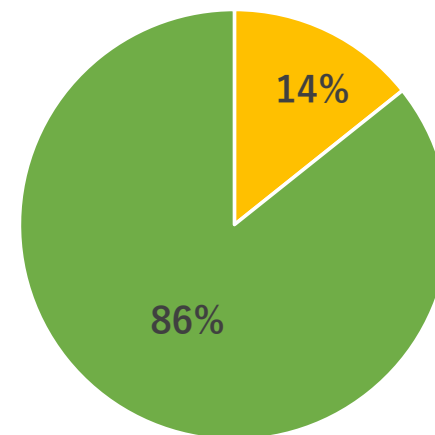
<8年計>

■ 帝王切開 ■ 他

有床診療所
【硬膜外鎮痛分娩する施設】



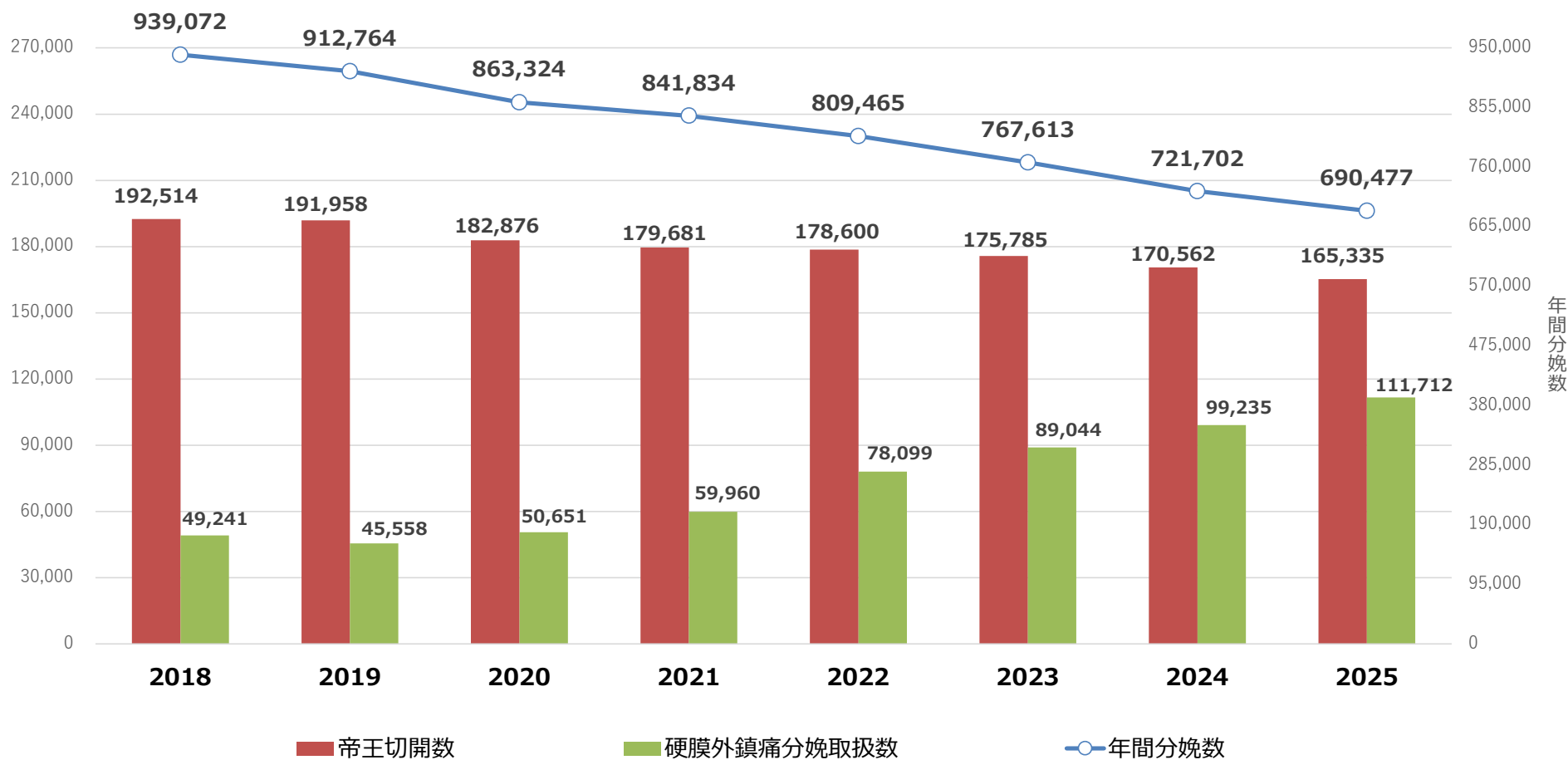
有床診療所
【硬膜外鎮痛分娩しない施設】

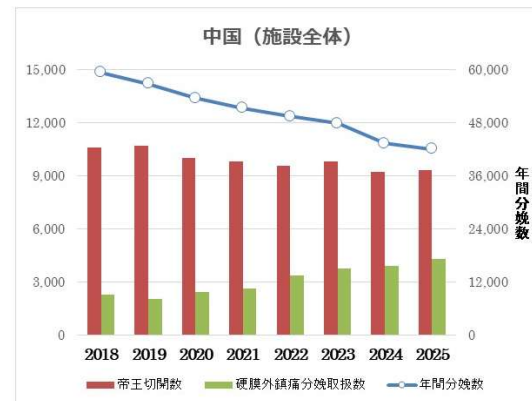
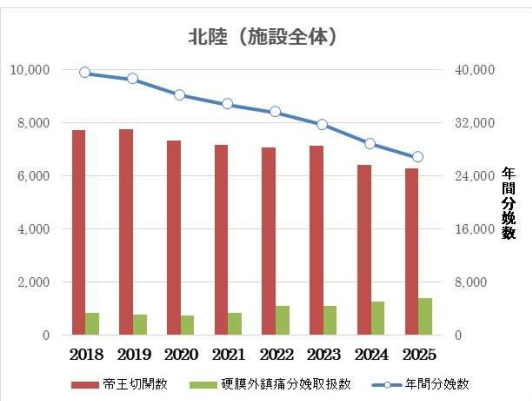


診療所では硬膜外鎮痛分娩の施行の有無で帝王切開率に変化は見られない

分娩数・帝王切開数・硬膜外鎮痛分娩の傾向(全国)

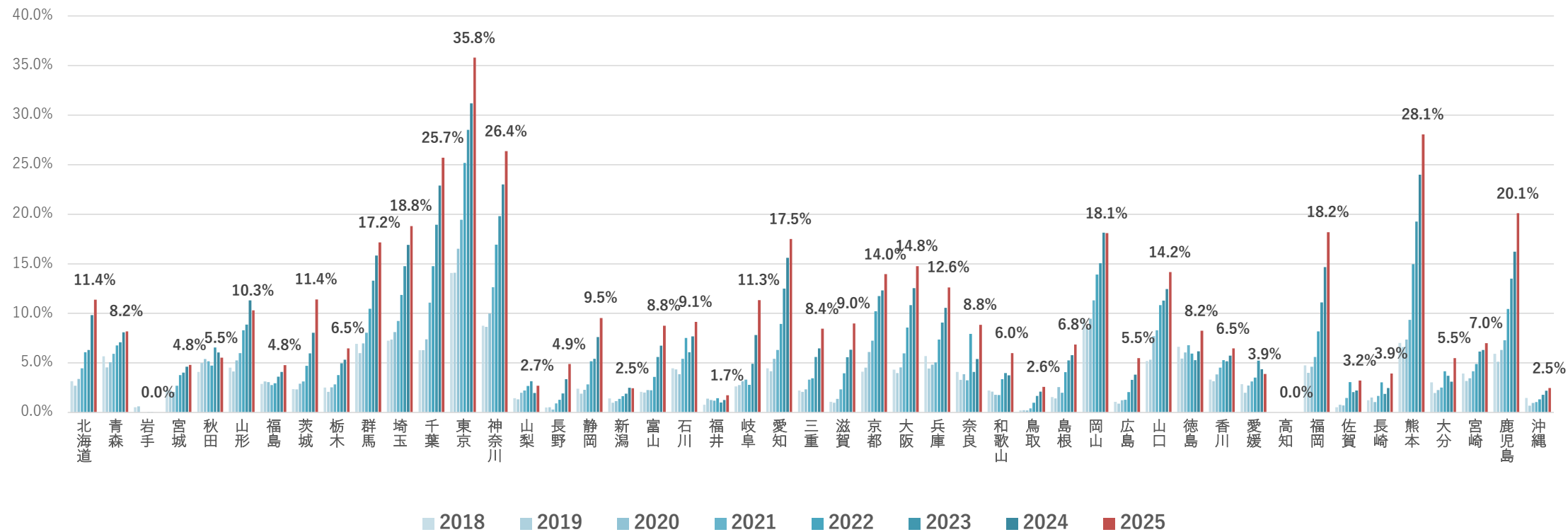
全国（施設全体）





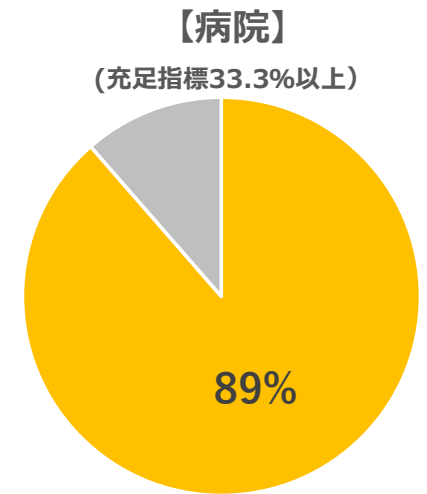
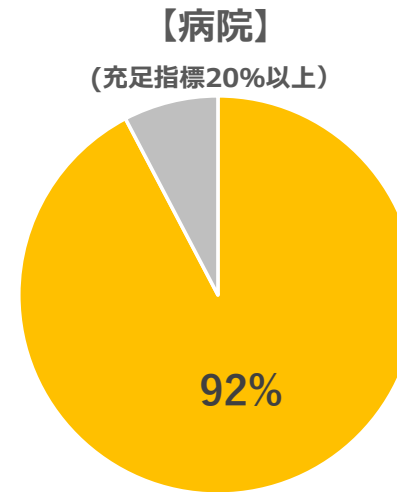
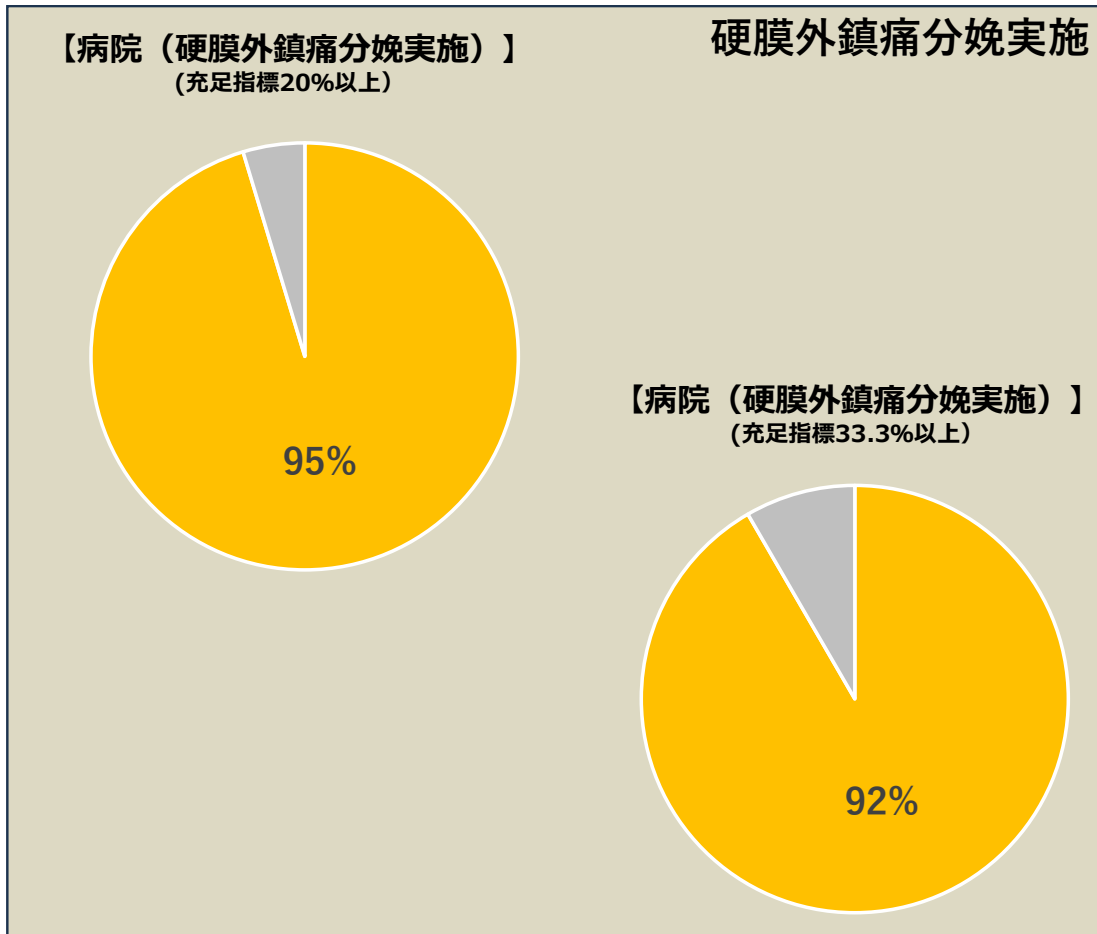
硬膜外鎮痛分娩の取り扱い施設数には地域的偏りがある

全分娩数に占める硬膜外鎮痛分娩率



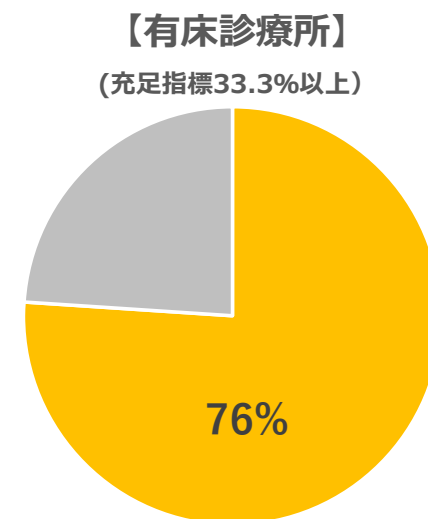
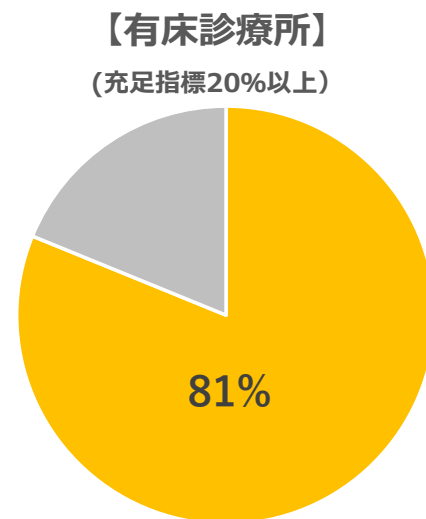
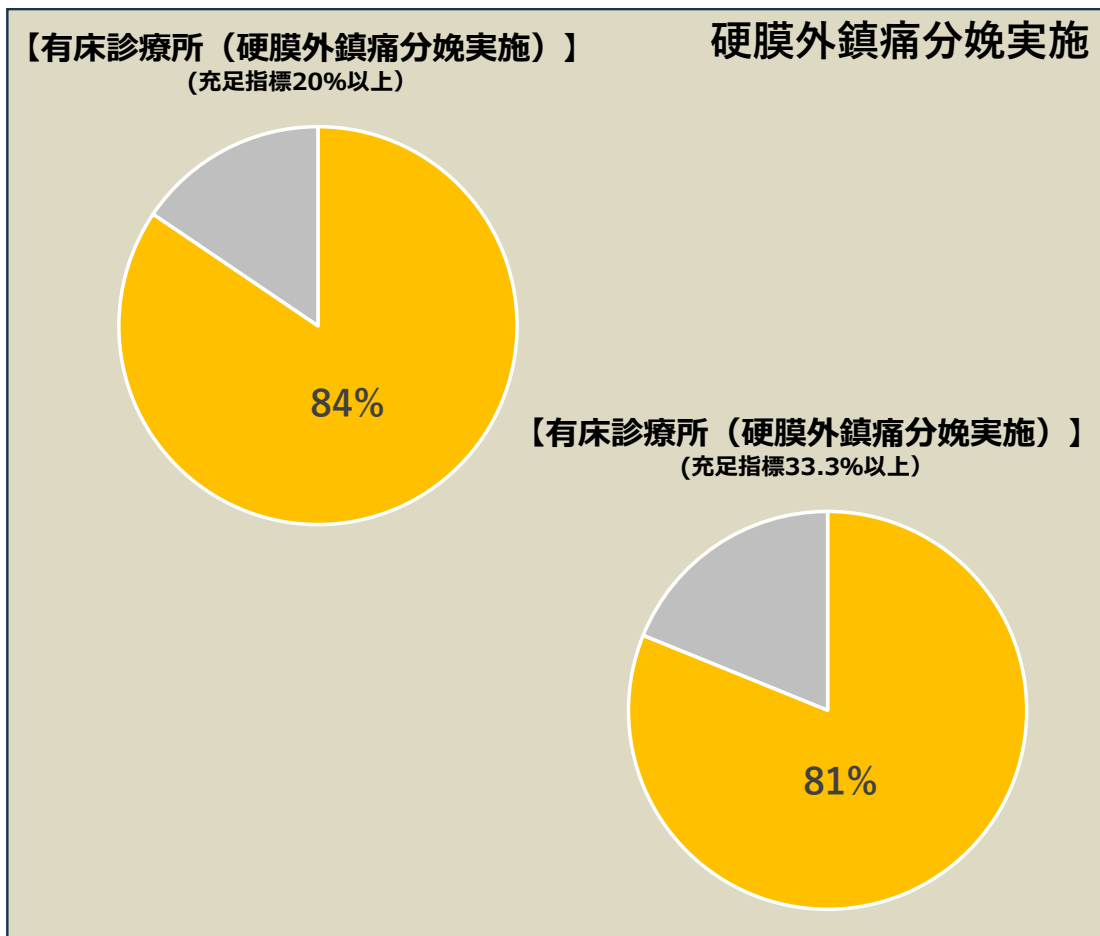
全分娩数に占める硬膜外鎮痛による分娩の割合は増加傾向にある
 地域的偏りがある

病院におけるNCPR(新生児蘇生法)資格者の充足 (2025年報告で集計)



充足率：常勤メディカルスタッフのうちNCPR資格者数の割合 5人夜勤:20% 3人夜勤:33.3% として集計

診療所におけるNCPR（新生児蘇生法）資格者の充足 （2025年報告で集計）



充足率：常勤メディカルスタッフのうちNCPR資格者数の割合 3人夜勤として診療所33.3%以上

日本産婦人科医会施設情報から言えること

- ① 日本全体として硬膜外鎮痛分娩は2018年報告の5.2%から2025年報告の16.2%と、7年間で3.1倍に増加した。
- ② 病院と有床診療所で硬膜外鎮痛分娩のおおよそ半数ずつを担っており、その割合に変動はない。
- ③ 硬膜外鎮痛分娩の非実施施設では分娩数が減少しているものの、硬膜外鎮痛分娩実施施設では分娩数が微増している。
- ④ 硬膜外鎮痛分娩の実施状況には地域的な偏りが大きい。
- ⑤ 硬膜外鎮痛分娩実施施設で帝王切開率が上昇することはない。
- ⑥ 硬膜外鎮痛分娩を実施している診療所ではNCPR資格者の割合が高い。